

## シラバス情報

1 ページ

## 科目情報

科目名称	竹堆肥を使った有機栽培実験を通じた体感型演習（地域実践演習）	配当年次	1	授業コード	A220230012		
開講年度	2017	単位数	2.0	開講時期	後期授業	科目分類	教養科目

## 代表教員情報

(カナ) 教員氏名	( トウジョウモトアキ ) 東條 元昭
--------------	------------------------

## 担当教員情報

東條 元昭

## 時間割情報

月曜4コマ	B3-307		

## メールアドレス等連絡先

東條元昭（植物病理学） E-mail: tojo@plant.osakafu-u.ac.jp 居室： B11棟424室
---

## オフィスアワー

毎日 12:10～12:55（B11-424または423）
-------------------------------

## 授業目標

地元産の竹を使った堆肥作りや有機栽培を、大阪府立大学教育研究フィールドやプロ農家圃場で演習形式で体験する。米国人農学研究者らと交えた講義形式で合わせて行い、その中で英語によるプレゼンテーションを行う。これによって、堆肥作りや有機栽培の意義・問題点を実際体験を通じて理解するとともに、地域における循環型農業の実際や、農業についての国際感覚を養う。
--

## 教科書

プリントを配布
---------

## 参考書

丸山亮平編 有機・無農薬栽培のコツ（ブティック社）税込420円
---------------------------------

## 関連科目

植物保護学
-------

## 授業時間外の学習

この授業では、各人に一個ずつの中型プランターを割り当てます。受講者は、植物の生育を定期的（週に2～3度）に観察して記録するとともに、その植物について図書やオンラインで調べ、特性を理解するように努めてください。植物への給水は毎日行う必要がありますが、休日を含めて毎日一人ずつの交代性を取ります（2週に1回程度の担当）。自分が育てている植物の状況を定期的（週に2～3度）に観察して観察日誌（レポート評価対象）として記録する。

## 授業概要

堆肥作りと有機栽培を通して農業や食糧生産の意義と問題点を理解する。堆肥作りでは竹の粉碎物にミミズを投入して分解させる方法を学ぶ。有機栽培では、大阪府立大学教育研究フィールド内の温室で冬野菜（ダイコン、ホウレンソウ、シュンギクなど）を栽培する。初日から苗移植作業を温室で行い、栽培法については指導教員がアドバイスする。11月初旬には河内長野市内の竹伐採現場での粉碎作業や有機野菜栽培農家での栽培作業を体験する。11月の授業では米国人農学研究者からも指導を受ける。その中で英語による有機野菜栽培等についてのプレゼンテーションを各人が行う。

## 成績評価

評価ポイントは、「堆肥作りと有機栽培を通して農業や食糧生産の意義と問題点をいかに積極的に理解しようとしたか」とする。平常点（出席数、授業姿勢などで評価）20点、レポート（日誌）40点、プレゼン40点として、100点満点。これらの項目の達成度で評価し、60点を合格最低基準とする。日誌については、定期的（週に2～3度）な観察記録とし、月日、天候、作業の内容、植物の状態などを簡単に書きとめる。学外見学の感想なども書き込む。プレゼンについては、受講生が一人ずつ米国人農学研究者と、農業や食糧生産に関わるテーマでディスカッションする形式で行う。各人の農作業の経過を報告しても良い。

## 備考

「地域実践演習」の履修には、学生教育研究災害傷害保険及び学研災付帯賠償責任保険（羽曳野キャンパスの学生はWi12に加入）に加入することを条件とします。  
学生課学生サポートグループ（羽曳野キャンパスは事務所・学生グループ）において手続きしてください。

## URLリンク

URLリンク 1

URLリンク 2

URLリンク 3

## 授 業 計 画

授業計画 第1回	概要説明、自己紹介、英語プレゼンについての説明の後、温室に移動して播種作業。	準備学習	農作業ができる服装。上述の参考書などを参考に、「有機・無農薬栽培とは何か?」を各自で調べてきてください。
授業計画 第2回	温室で植物の管理作業、竹堆肥の作製作業。	準備学習	農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的(週に2~3度)に観察して記録するとともに、その植物について図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。
授業計画 第3回	温室で植物の管理作業、竹堆肥の作製作業。	準備学習	農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的(週に2~3度)に観察して記録するとともに、その植物について図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。
授業計画 第4回	温室で植物の管理作業、竹堆肥の作製作業。	準備学習	農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的(週に2~3度)に観察して記録するとともに、その植物について図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。合わせて、その植物の特性を英語でも説明できるように英語のサイトなどを検索しておく。

## 授 業 計 画

授業計画 第5回	河内長野市のタケ粉碎作業現場と有機農家見学。(11月の土日祝日のいずれか1日に実施)	準備学習	タケ粉碎作業現場と有機農家見学の現地情報をWebサイトなどで知らせますので、予め読み込んできてください。
授業計画 第6回	講義室で英語プレゼン。時間が余れば温室作業。	準備学習	自分が育てている植物の特性を英語でも説明できるように英語のサイトなどを検索しておく。
授業計画 第7回	講義室で英語プレゼン。時間が余れば温室作業。	準備学習	自分が育てている植物の特性を英語でも説明できるように英語のサイトなどを検索しておく。
授業計画 第8回	温室で植物の管理・収穫作業、竹堆肥の作製作業。	準備学習	農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的(週に2~3度)に観察して記録するとともに、その植物の変化(病虫害被害や生理変化など)がなぜについて図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。

授 業 計 画

<p>授業計画 第9回</p>	<p>温室で植物の管理・収穫作業、竹堆肥の作製作業。</p>	<p>準備学習</p>	<p>農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的（週に2～3度）に観察して記録するとともに、その植物の変化（病虫害被害や生理変化など）がなぜについて図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。</p>
<p>授業計画 第10回</p>	<p>温室で植物の管理・収穫作業、竹堆肥の作製作業。</p>	<p>準備学習</p>	<p>農作業ができる服装。自分が育てている植物の状況を定期的（週に2～3度）に観察して記録するとともに、その植物の変化（病虫害被害や生理変化など）がなぜについて図書やオンラインで調べ、特性を理解しておく。</p>
<p>授業計画 第11回</p>	<p>温室で植物の収穫作業と後片付け。</p>	<p>準備学習</p>	<p>農作業ができる服装。</p>
<p>授業計画 第12回</p>	<p>講義室で収穫物評価。</p>	<p>準備学習</p>	<p>この日までに作業日誌を取りまとめて提出。</p>